

千葉県社保協通信

2016年度—No15 2017年 4月 20日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉セカビル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

安倍暴走政権ストップ!!

消費税増税中止!

安全・安心の医療・介護は国の責任で 4.19国会行動・院内集会

千葉県社保協・消費税を廃止させる千葉県連絡会 共催

19日、千葉県社保協と消費税を廃止させる県連絡会は共同で、衆院第1議員会館で、院内集会を開催。土建、民商、年金者組合、新婦人、労連、民医連、保険医協会、保問協、地域社保協などから60人が参加。集会の後、8組に分かれて、地元国会議員と参議院厚生労働委員に「消費税増税を中止し、安全・安心の医療・介護を」「介護保険法『改正』法案の徹底した論議と廃案を」と要請を行いました。



18日、衆議院本会議で介護保険法等改悪案（正式名称は「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案」）が自民、公明、維新の賛成多数で可決され、参議院に送られました。

この法案は、「『現役並み』所得者の利用料を3割に」「長期療養を担う療養病床の削減・廃止」「『我が事・丸ごと地域共生社会』の名の下に、公的支援を住民の助け合いに代替させる」「介護給付費の削減を保険者（市町村）に競わせる」などの内容が盛り込まれています。

← 高橋千鶴子議員が連帯のあいさつ

院内集会には、斉藤和子・高橋千鶴子の二人の日本共産党衆議院議員がかけつけ、国会情勢を報告。高橋議員は、「介護保険法等改悪案は社会保障制度のあり方を根底からゆるがす内容。高齢者、障害児、障害者など多岐にわたる31本の法律を束ね、地域福祉のあり方を大きく変えるもの。地方公聴会も行わず、関係者の声もまともに聞かないまま、わずか22時間で審議を打ち切る暴挙を認めるわけにはいかない。必ず廃案に」と話しました。

斉藤議員は「消費税は社会保障のためとしながら、軍事費ばかりを増やし、戦争する国づくりのため密告社会をつくる共謀罪法案を許さない世論と運動を」と訴え、連帯のあいさつ。



↑ 斉藤和子議員に「安心の医療・介護の実現を求め」署名を手渡す鈴木県社保協会長

つづいて団体・地域社保協の取り組みを交流。●「税金の集め方、使い方変えれば社会保障財源あると話し署名を広げている」（民商）●「介護不安の声が上がっている。子どもの貧困も深刻。入学準備金前倒し支給のとりにくみ広げている。子どもから高齢者まで安心して生きられる世の中つくりたい」（新婦人）●「全国の仲間や家族のはがき・地元議員要請、予算要求決起集会など幅広く継続的にとりくみで建設国保の一人あたりの医療費の伸びを見込ませ現行水準を勝ち取る成果」（土建）●「年金カットや株投資に怒り広げ、安倍政権にノーを」（年金者組合）●「介護保険見直し案に、悲痛な声が多数寄せられている。閉鎖に追い込まれる事業所もある。介護を担う職員が自らの専門性を発揮し、誇りをもって働き続けられる条件整備を一刻も早く」（民医連）●「経済的理由による受診抑制が深刻になっている。患者負担軽減の署名に取り組んでいる」（保険医協会）●「地域では制度改悪があまり知られていない。学習を力に地域から運動広げたい」（鎌ヶ谷社保協）●「自治体キャラバンきっかけに就学援助制度改善など継続して取り組むことに」（佐倉社保協）●「保育現場でも国歌や国旗の押しつけなどの動きがある。保育士の処遇改善など分野を超えてと協力しあいたい」（保問協）●「労働者と家族の生活と権利の向上めざし、賃金と労働時間改善、社会保障充実のため頑張りたい」（労連）集会は団結ガンバローで閉会しました。